

4-2 伊豆半島およびその周辺の地震活動 (1986年11月～1987年5月)

Seismic Activity in and around the Izu Peninsula, November, 1986 — May, 1987

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

この期間伊豆半島周辺では、昨年11月16日～12月5日にかけて、伊豆大島近海で有感を含む活発な地震活動（別報告「伊豆大島近海の地震活動」参照）がみられた。また、本年5月6日ころからは伊豆半島東方沖でも活発な群発地震活動が始まり、5月31日までに90回の有感地震（最大震度Ⅲ・8回）を含む多数の地震が発生した。

第1図は最近の伊東市鎌田におけるS-P6秒以下の日別地震回数である。昨年11月～12月にかけての伊豆大島近海の地震による回数増加がみられて以来、本年5月6日からの伊豆半島東方沖の群発地震による急激な回数増加があるまでは、比較的静かな状態で経過していた。なお、4月上旬に回数がやや増加しているのは、箱根山の地震活動がやや活発化（4月1日～2日）によるものである。

<伊豆半島東方沖の地震活動>

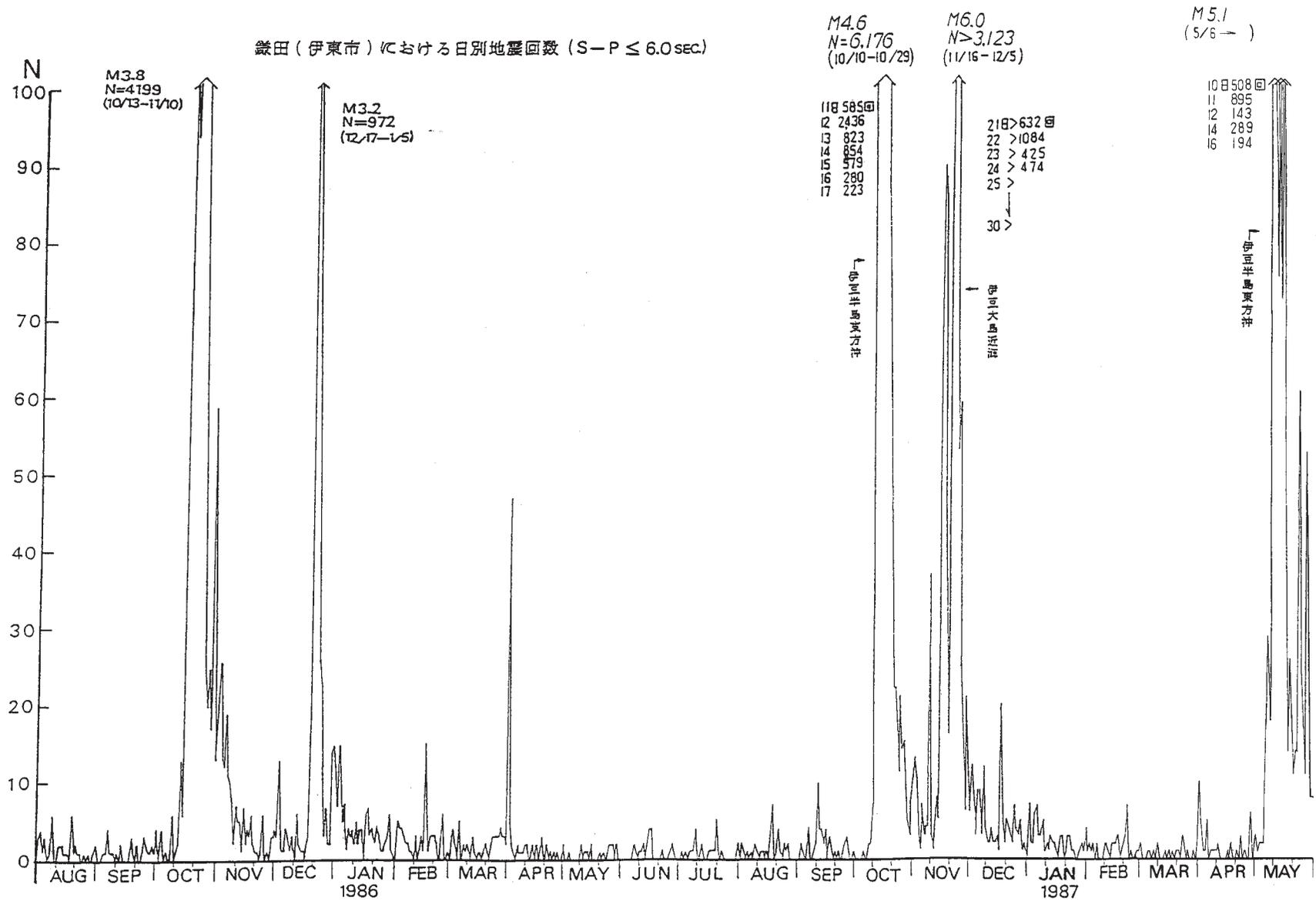
第2図は5月6日ころから伊豆半島東方沖で発生した群発地震の鎌田における時間別回数①と日別回数②である。地震が最も多かったのは11日（895回）で、このうち6時～7時にかけてがピークとなった。しかし、全体としての時間別ピークは14日の21時～22時にかけての195回（日回数は289回）である。6日11時～31日24時までの地震総数は2,602回、うち有感は90回となった。Mの最大は5.1（11日06時35分）、震度の最大はⅢ（8回）であった。日別地震回数（鎌田）表中の有感は、気象官署で有感となった地震の最大震度別回数を示したもので、グラフの有感回数もこれにならって表示してある。

第3図は今回の地震の期間別震央分布で、(a)は5月1日～31日までのとおし（②はM2.5以上）、(b)は①と⑩が4日間・②～⑨が日別・⑪と⑫が5日間の区分となっている。活動域の移動はなくまとまっており（集中的）、これまでの活動分布域のほぼ東端部に位置している（第5図参照）。

第4図は伊豆半島東方沖とその周辺における昨年から今年にかけての地震活動を示したもので、今回の活動も5月11日までは含めてある。②は伊豆半島東方沖から大島南沖までの活動状況（①の破線で囲んだ部分）を示す時空間分布で、昨年10月の同海域における活動→11月の伊豆大島近海の活動→今回の活動の経過が示されている。

第5図には、これまでの同海域における活動の推移をみるために、1976年10月以降の鎌田における旬別地震回数を示した。図中下部には、それぞれの地震活動に対応する震央分布域（斜線部分）も掲示してある。

また、第6図にこれまで伊豆半島東方沖で発生した主な地震活動についての地震回数グラフ（鎌田）を示す。それぞれの地震の発生状況を対比参照するためのものである（第5図の補足）。

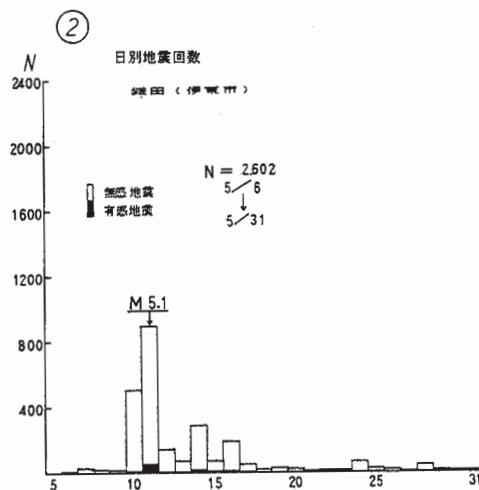


第1図 伊東市鎌田における日別地震回数 (S-P ≤ 6.0 秒)

Fig. 1 Daily number of earthquakes observed at Kamata (S-P ≤ 6.0 sec.).

伊豆半島東方沖の地震活動

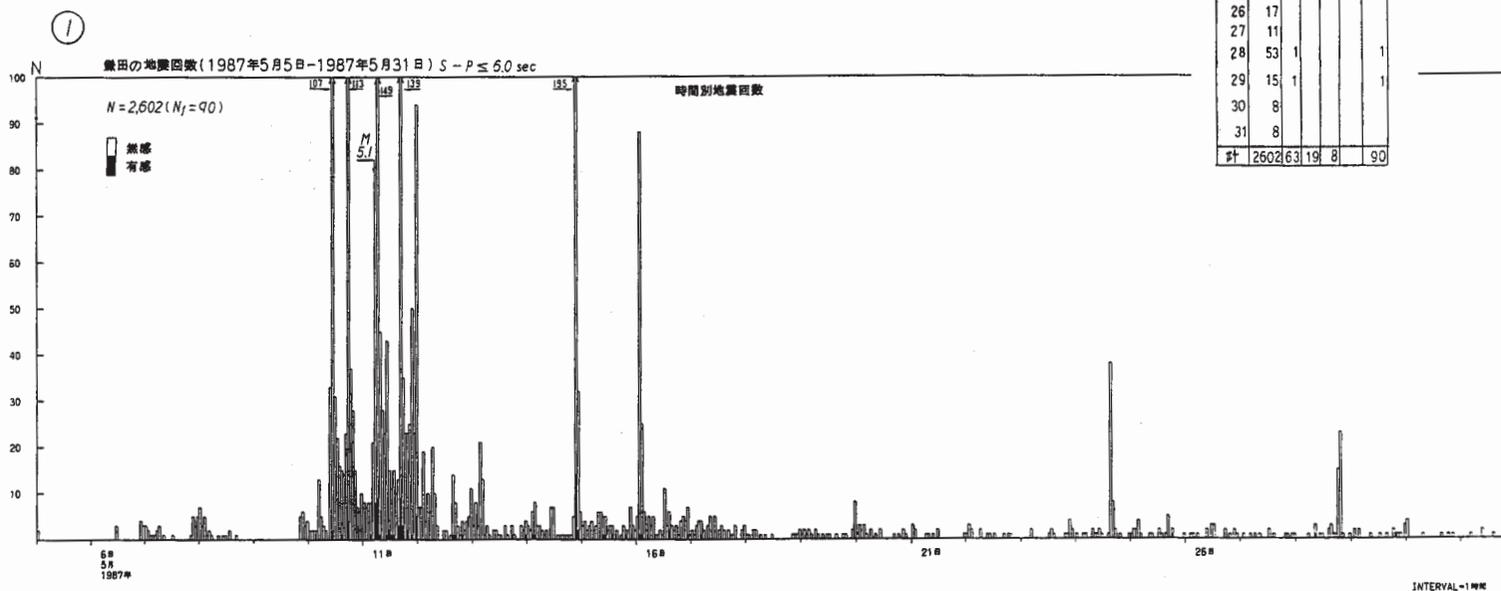
1987.5.6 — 5.31



日別地震回数

鎌田 (伊豆半島)

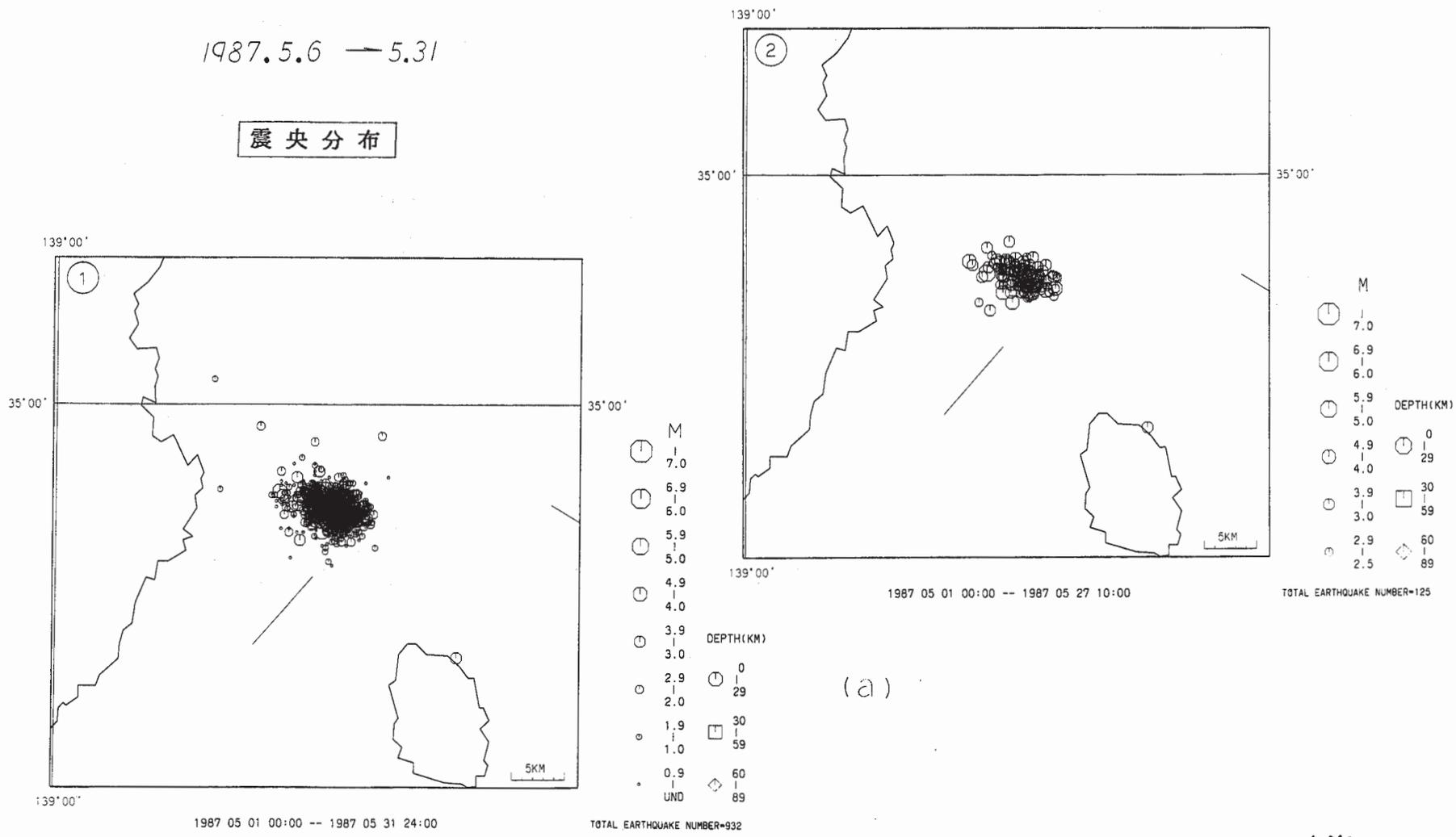
月日	回数	有感				計
		I	II	III	IV	
5 6	10					
7	19					
8	25					
9	18					
10	508	2	1	4		7
11	895	34	11	2		47
12	143	3				3
13	76	1		1		2
14	289	13	5			18
15	73	3	1			4
16	194	4	1			5
17	48		1			1
18	14					
19	26					
20	18					
21	11					
22	14					
23	14					
24	61					
25	24	1				1
26	17					
27	11					
28	53	1				1
29	15	1				1
30	8					
31	8					
計	2602	63	19	8		90



第2図 1987年5月6日～31日の伊豆半島東方沖の群発地震の鎌田における地震回数

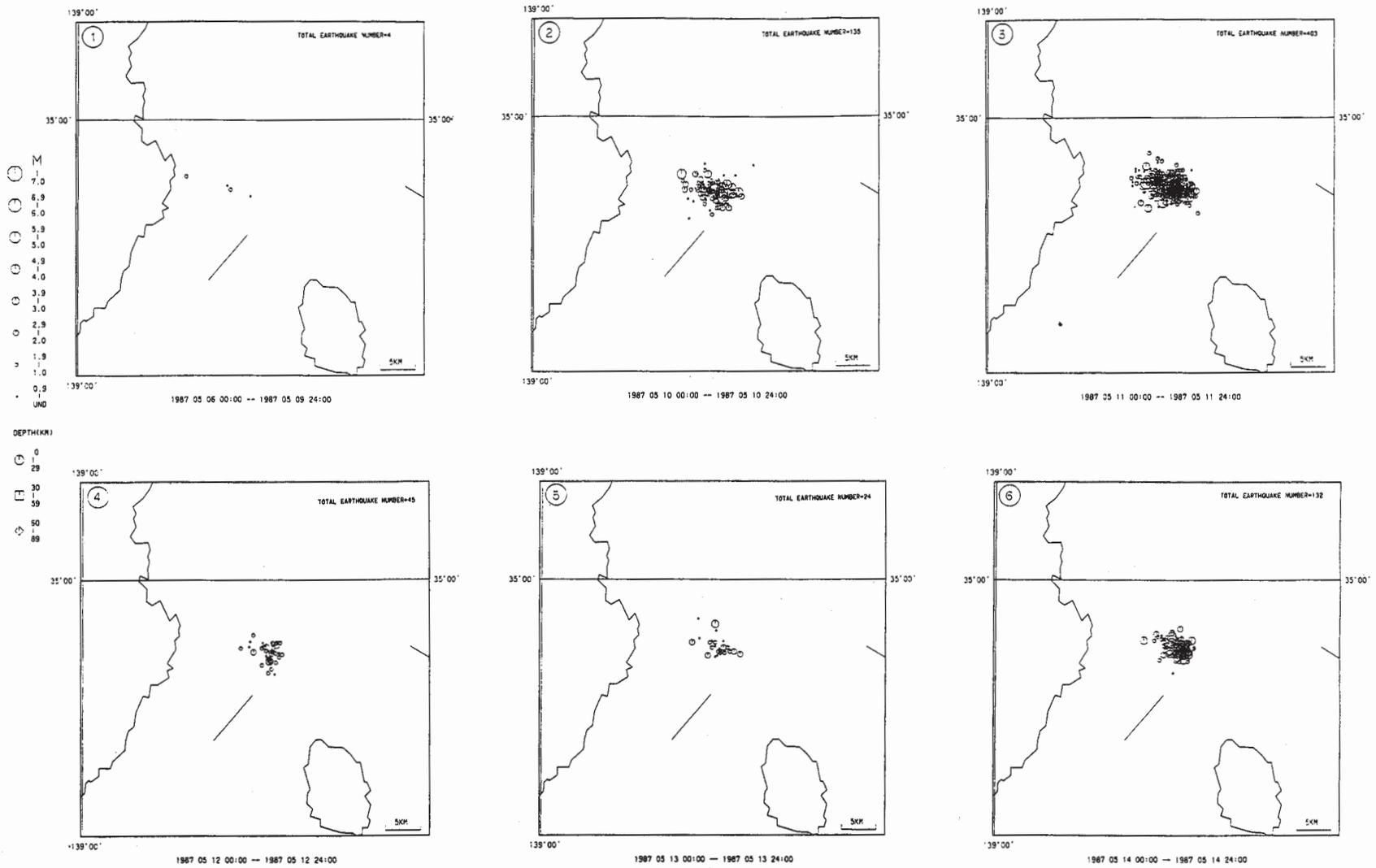
①: 時間別地震回数, ②: 日別地震回数

Fig. 2 Hourly and daily number of earthquakes off east coast of the Izu Peninsula for May 6 - 31, 1987 observed at Kamata. (1) Hourly number of earthquakes, (2) Daily number of earthquakes.



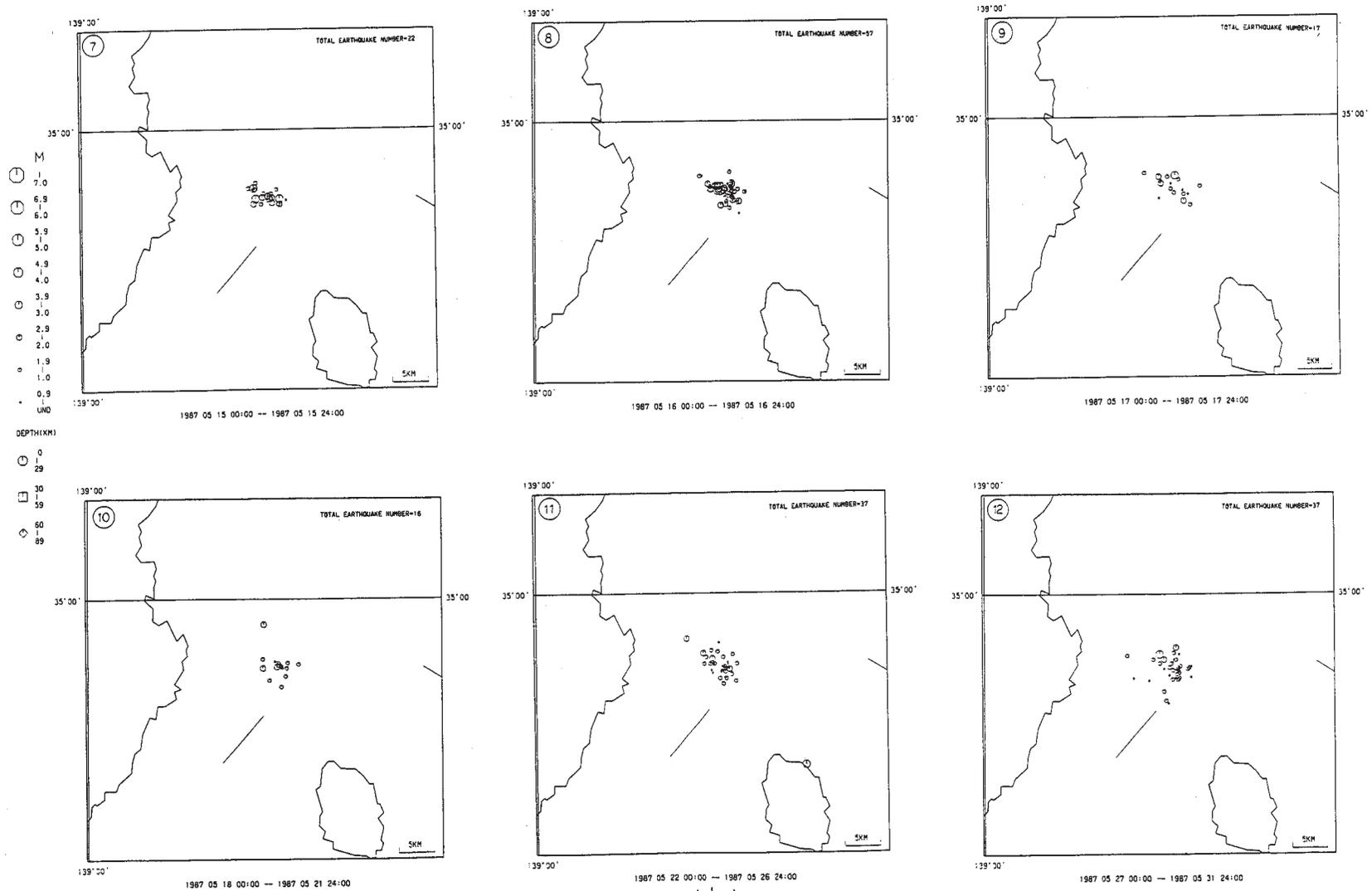
第3図 伊豆半島東方沖の地震活動の期間別震央分布 (1987年5月6日～31日)

Fig. 3 Epicentral distribution of earthquakes off east coast of the Izu Peninsula for the whole and successive periods from May 6 to 31, 1987.



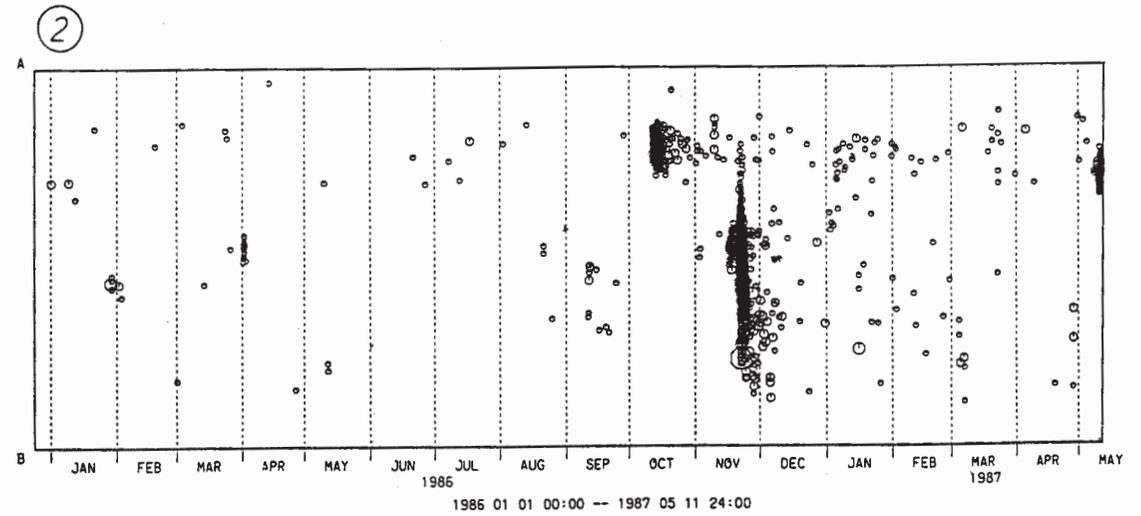
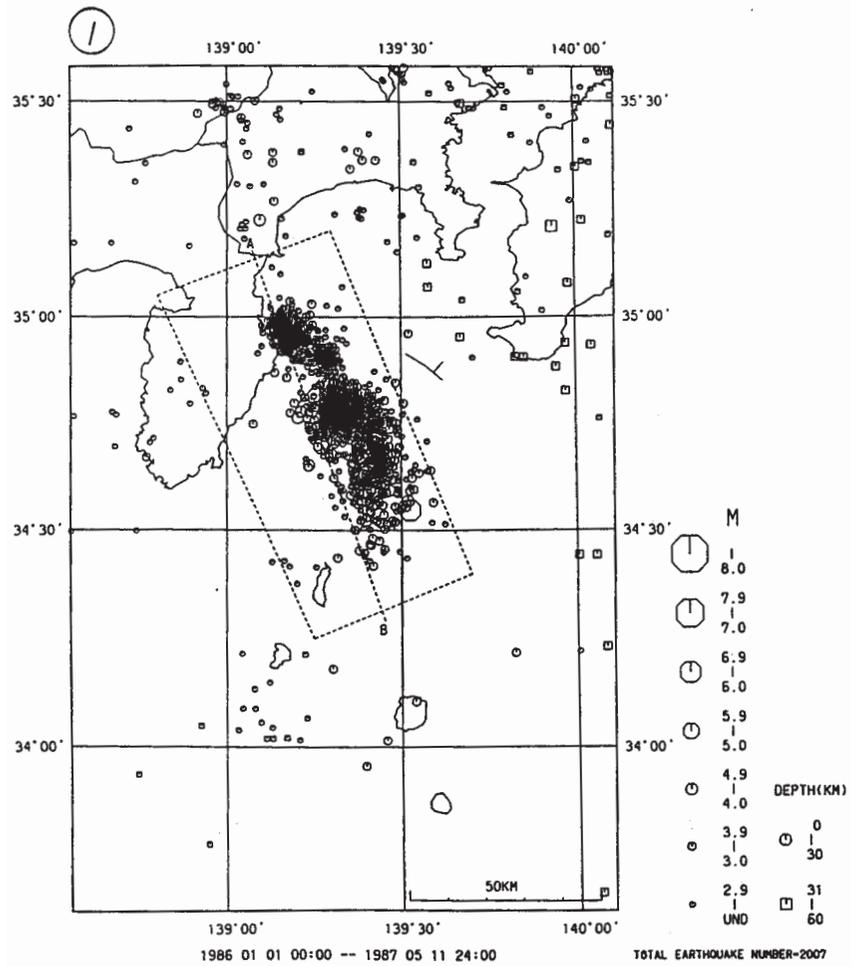
(b)

第3図 つづき
Fig. 3 (Continued)



(b)

第3図 つづき
Fig. 3 (Continued)

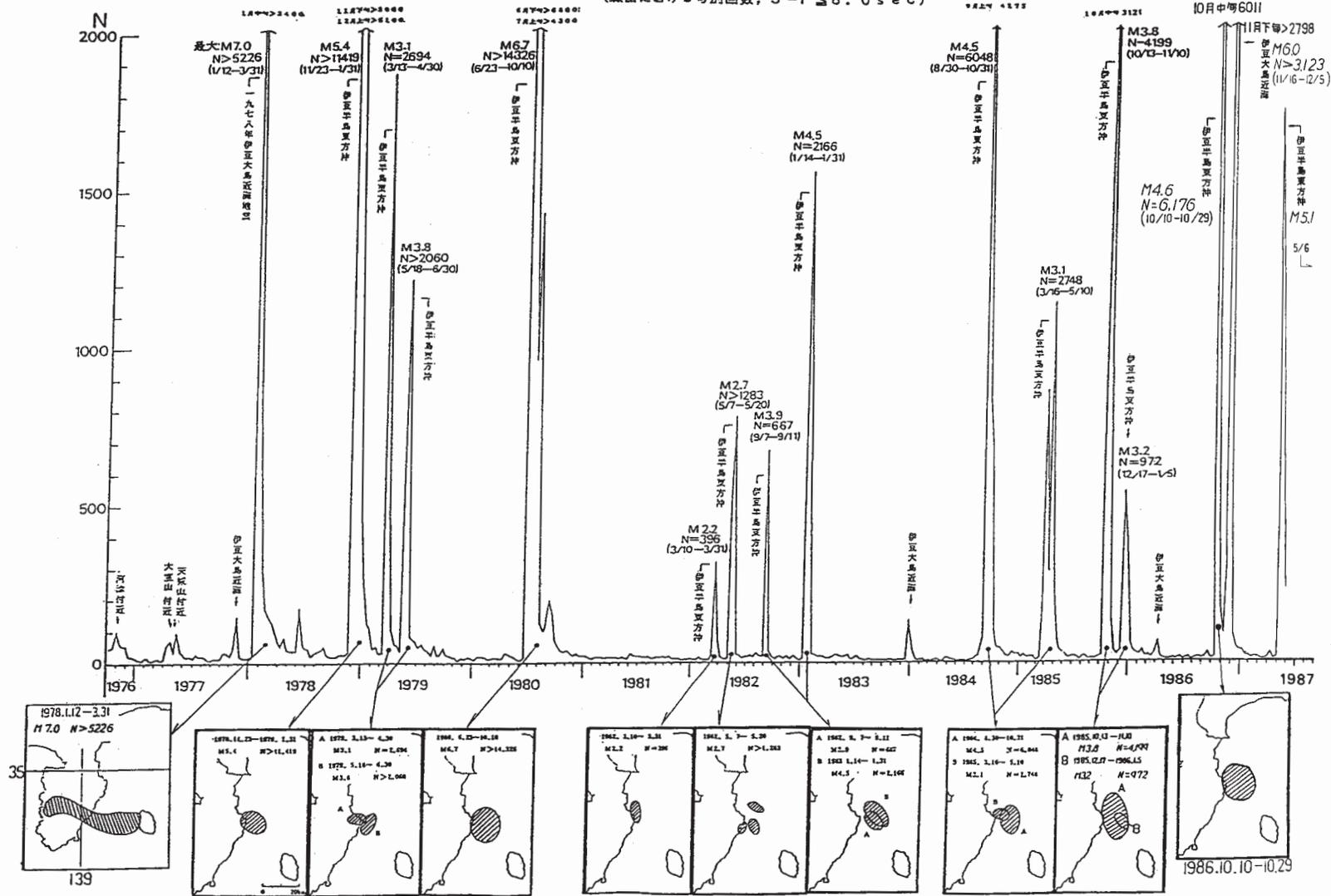


第4図 伊豆半島東方沖の地震活動 (1986年1月1日～1987年5月11日)
①:震央分布, ②:時空間分布

Fig. 4 Seismic activity off east coast of the Izu Peninsula, Jan. 1, 1986 - May 11, 1987.
(1) Epicentral distribution (2) Space-time plot.

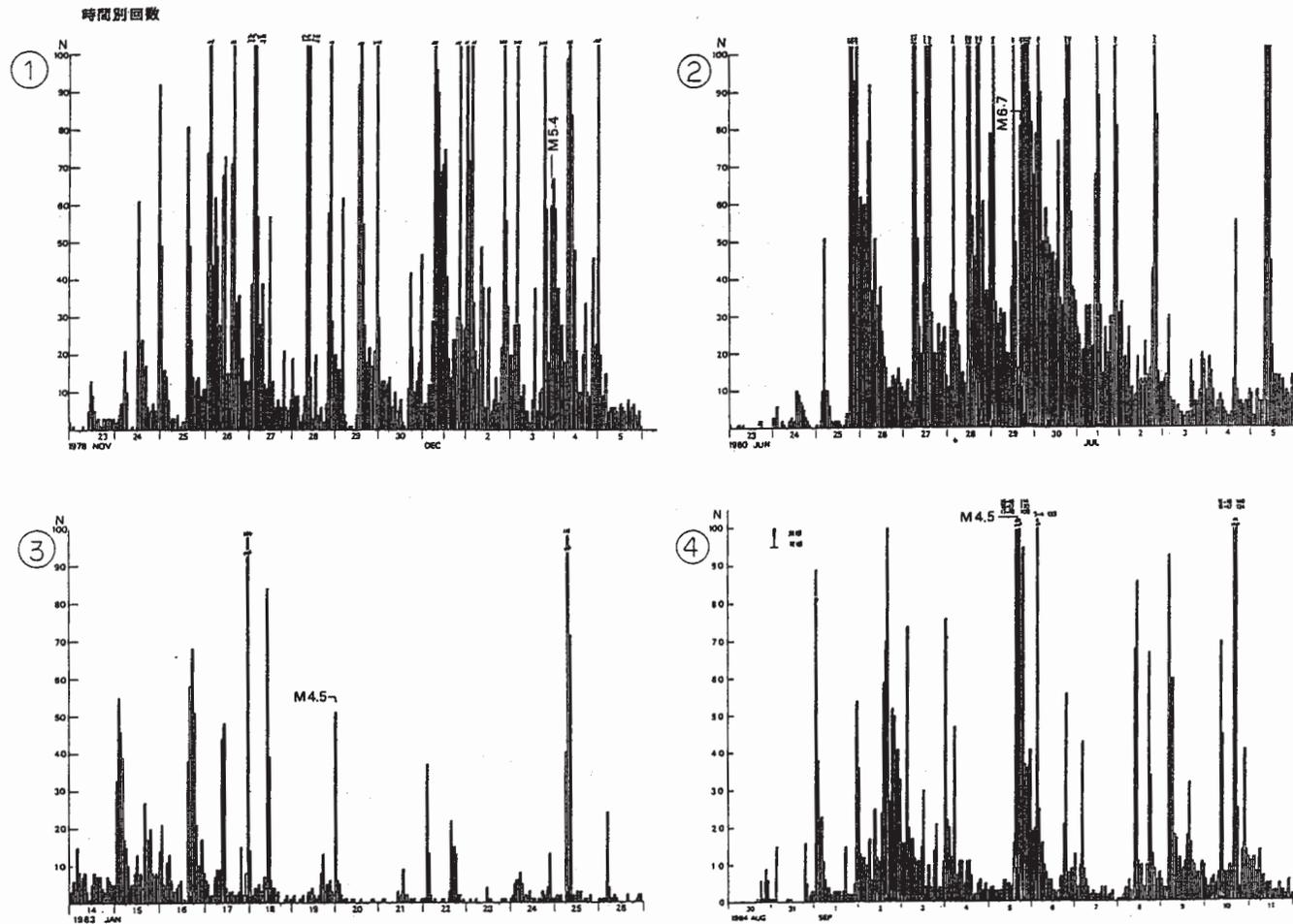
伊豆半島東方沖の地震活動

(鎌田における旬別回数, $S-P \leq 6.0 \text{ sec}$)



第5図 1976年10月以降の鎌田における旬別地震回数 ($S-P \leq 6.0 \text{ 秒}$) と地震の震央分布域 (斜線部分)

Fig. 5 Number of earthquakes in every decade observed at Kamata from October, 1976 to May, 1987 ($S-P \leq 6.0 \text{ sec}$) and earthquake epicenters area (Hatched area).



第6図 伊東市鎌田における時間別地震回数（伊豆半島東方沖の主な地震活動について）

①：1978年11月～12月，②：1980年6月～7月，③：1983年1月，④：1984年8月～9月，⑤：1985年10月～11月，⑥：1987年5月，⑦：1978年1月（伊豆大島近海の地震）

Fig. 6 Hourly number of earthquakes observed at Kamata (For the main seismic activities off east coast of the Izu Peninsula). (1) Nov. - Dec., 1978, (2) Jun. - July, 1980, (3) Jan., 1983, (4) Aug. - Sep., 1984, (5) Oct. - Nov., 1985, (6) May, 1987, (E) Jan., 1978 (Near Izu-Oshima Island).

